

新宿・歌舞伎町が変わる! 来街者を呼び込む「東急歌舞伎町タワー」の仕掛け

70
創刊70周年

財界

Z A I K A I
a Japanese business biweekly

一般企業が銀行機能を持つ時代
「埋め込み型金融」で先陣切る
住信SBIネット銀行の“開拓力”

春季特大号
2023 5/10

◎日本再生の手立て
中前国際経済研究所
代表
中前 忠
立教大学経済学部教授
首藤 若菜
◎インタビュー
三菱マテリアル社長
小野 直樹

「不確実性の時代」乗り切りへ、「産官学」連携を推進

本誌主幹 村田 博文

産業競争力を
高めるお手伝いを

二井不動産新社長・植田 俊の

「需要創造を図る産業デベロッパーとして」



表紙の人
トーエル会長CEO
中田 みち
撮影 齊田 勤

令和5年5月10日発行(隔週水曜日) 令和5年4月15日発売 昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第71巻第10号



かまくら・たつろう

1989年宮崎医科大学医学部卒業 九州大学生体防御医学研究所附属病院(現・九州大学病院別府病院勤務) 1990年九州大学医学部附属病院(現・九州大学病院別府病院)勤務 その後大手美容外科に5年間勤務し、その間福岡院の院長を歴任 2000年優れた実績を評価され聖心美容外科に招聘 東京院副院長就任 2001年福岡院院長就任 2003年聖心美容外科東京院院長就任 2004年聖心美容外科統括院長 2015年第104回日本美容外科学会会長に就任 2017年公立大学横浜市立大学医学部臨床教授に就任

ます。今年5月11、12日には第11回目の学会が大阪市北区中之島のグランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)で開催されます。池田先生が学会長ですね。

池田 はい。テーマは「美しい未来を作る美容外科」先人から学び、未来へ繋げる」です。

池田 今回の学会の一番の柱は、学ぶ場を増やしていくということですね。今、美容医療に関する製品がいろいろ出ていますが、保険医療ではないのでさまざまなパターンがあります。承認されているもの、承認されていないもの、承認されていない中でも質の良いもの、質の良いもの...。それらが混在しているの、より良いものをみんなで正しく情報共有していくというのが目的の一つです。

池田 鎌倉先生の大阪のクリニックの手術室をお借りして、眼瞼下垂手術や他の美容外科手術の様子を会場に配信しますね。会員はそれを見ながら、質問があれば会場から施術者さんにリアルタイムで質問できます。昔は直接手術室に行つて見学したものですから、同時に何百人もが一緒に見られるというのは、今の時代だからこそですね。

池田 鎌倉先生の大阪のクリニックの手術室をお借りして、眼瞼下垂手術や他の美容外科手術の様子を会場に配信しますね。会員はそれを見ながら、質問があれば会場から施術者さんにリアルタイムで質問できます。昔は直接手術室に行つて見学したものですから、同時に何百人もが一緒に見られるというのは、今の時代だからこそですね。

池田 鎌倉先生が医者になったのは平成元年ですね。鎌倉 ええ、6年間外科をやった後、美容外科に移りました。当時、僕がやった外科はいわゆる内臓外科だったんですよ。特にがんをメインにやっていたので、正直、言い方は悪いですが、助かる人は助かる、助からない人は助からないと大体決まっていたんですよ。そうすると、自分の手術の技術に

今年5月大阪で開催される日本美容外科学会のテーマは「美しい未来を作る美容外科～先人から学び、未来に繋げる～」を掲げ、多くの会員に学ぶ場を提供します。

日本美容外科学会会長
東京皮膚科・形成外科 総院長

日本美容外科学会理事長
聖心美容クリニック統括院長

池田 欣生 × 鎌倉 達郎

今回の対談ゲストは、聖心美容クリニック統括院長鎌倉達郎さんです。鎌倉統括院長は、昨年日本美容外科学会理事長に就任されました。私も昨年日本美容外科学会会長に就任して、鎌倉理事長と会長の私が共に活動します。日本美容外科学会をこれからどう運営して発展させるのか。会員にどう美容外科の技術を学ぶ場を提供して更なる躍進を図るのかを鎌倉理事長に忌憚なく就任の抱負を語ってもらいます。

池田 今回のゲストは鎌倉達郎・聖心美容クリニック統括院長です。日本美容外科学会(JSAS)の理事長に昨年就任されました。日本美容外科学会の目的は「美容外科に関する研究、並びに科学的知識および技術の普及発達と美容外科の学術上の地位の確立を図ること」ですね。現在の会員数は何人ですか。鎌倉 昨年3月時点で1248人です。学会機関誌は57巻、日本美容外科学会の開催数は110回を数え



いけだ・よしお

大阪医科大学卒業。1996年大阪医科大学附属病院 形成外科入局。同大学附属病院形成外科病棟医長、東海大学病院形成外科・美容外科臨床助手を経て、2000年大阪いけだクリニック開院。04年銀座いけだクリニック開院。現在は東京皮膚科・形成外科 総院長の他、東海大学病院形成外科非常勤講師、一般社団法人・JAAS日本アンチエイジング外科学会理事長・医療アートメイク学会 理事長 Mrs SDGs JAPAN 理事をつとめる。第111回 日本美容外科学会(JSAS) 学会長

よって成功する、しないの差が生まれるということがなくなってくる。そういうときに出会ったのが形成外科、美容外科、表面外科でした。表面を扱うと、ごまかしがききません。

いくらこつちが良い結果を出したと思っても、「ご本人がよろしくない」と言え、よろしくないということ。そうした世界で自分を磨きたいというのが美容外科にきた最初のきつ



けでした。

最近YouTube、Instagramで美容外科の成果をアピールする人が増えてきました。

池田 僕は形成外科で膀胱がんや顔の皮膚がんの再建を主にしています。そのときにやっぱり美容の技術があったほうがより患者さんにとってはいいかなと思って、美容外科に出入りしていたんですね。

大学病院では眼瞼下垂が専門だったんですけど、そのときもやっぱりきれいな目になりたいっていうのが患者さんの思いだったので、そこを極めようと思っていたら、そのまま美容外科のほうが楽しくて、そっちの道に進んでいった感じですね。美容外科の世界は、やっぱり技術の習得をものすごく頑張らないといけません。

最近は何だか集客がうまければいいみたいな風潮に、若い先生たちがなってきたように感じるので、僕としてはそういうことを学会を通じて若い先生たちに伝えていきたいと思っています。患者の集客がうまいほど技術をもっと磨かなければ、不幸が増えるのです。

ところで、美容外科に関することはもう別に隠さないという人が、こ

の20年ぐらいいでかなり増えましたね。

鎌倉 そうですね。メディアの変化が大きく関わっていますね。それこそ2000年よりもっと前、インターネットが普及していない時代は美容医療の情報は雑誌だけでした。そこからインターネットの時代に入って、ネット戦略が出てきて、YouTubeとか、ここ数年はInstagramが出てきて、そこから完璧に自己アピールをする。これからはその垣根はもつとなくなっていくんじゃないかな。ただ、だからこそ、受ける側もちゃんと意識してやらないと、例えばバーチャルの世界で自分の顔を作り変えてみたりってことと、現実とがごつちやになってきている人たちもいるので、自分をしっかり持った上でうまく美容医療を活用するべきですね。

池田 この3年間のコロナ禍で美容医療は変わりましたか。

鎌倉 一時的なダメージは2020年の春にありましたけど、その後は増えてきましたね。多分、日本だけじゃなくて世界的にも、コロナの影響は美容医療に関しては戻っていますよ。

池田 多分、ZOOM会議のときなどに客観的に自分を見たら、僕

こんなふう映っているんだ、ちょっとこのしわをなくしたいとかね、思うんじゃないでしょうか。そういった需要は増えた気がします。

ダイエット薬は安い個人輸入でなく、正規のダイエット薬を服用

鎌倉 男性の需要は増えていきますね。意識する人たちの割合は増えたと思います。若い人も経営者レベルの人も。

池田 若い経営者はだいぶやっていますね。メディアとかネットに出ることも多いです。容姿に気を使う人が多い。ダイエットに気を使っている若い人もすごく多い気がします。筋トレを頑張ったり。昔は中年太りの人が多かったけど、今の中年って、太っている人は少ないんじゃないかな。

20代などはもう太っている人はいないですね、女の人も男の人も。健康に対してみんな敏感になってきています。やっぱり太って健康っていいことではないので、そこも含めてちゃんと正しいダイエットが広まってきています。それも自費診療になって、我々の分野に入ってきました。でも、怪しいダイエット薬を個人輸入で飲んでいる患者さんも多いです。

薬の偽造は多いんですよ。だから、

そういった危険性についても、世間にもうちよつと広めたいですね。安くて良心的なふりをしたもののほうが危ないんですよ。若い人は安くていいものをネットで探すという文化になっていきますが、そこに悪い人が蠢いています。このことはだから、やっぱり正規品というか、きちんとお医者さんから買うのが安心です。よっていうことは伝えたいです。

鎌倉 そうした啓蒙活動も必要ですね。今後は高齢者がますます増えていくので、予防医学という自費診療の分野もさらに増えますね。

池田 病気になるないようにしようという分野ですが、そういう健康情報も今、インターネットで間違った情報が本当たくさんあふれています。僕、世界中、いろんなところにいき出しているんですけど、ネットの情報の間違いがあまりにも多すぎて、もう人とリアルに会って話さないと信じられなくなっているんですよ。

情報過多すぎて、よくわからないですね。だから、そういう意味では、誰が言っているのかっていうのが一番大事。その点、雑誌メディアは今ネットに押されていますけど、信用

力は高いと思います。

大阪の学会では、米国、中国、韓国の美容外科会長のはじめ世界の美容外科医が参加

鎌倉 昨年の学会は東京で1500人集まりました。今年は大阪なので目標は1000人ですが、盛況にしたいですね。

池田 学会に大勢集まるようになりましたよね。これまではそんなに集まる機会もありませんでした。それだけ自費診療に対する世の中の抵抗感が薄れてきて、自費診療を手がける先生が増えたのだと思います。

今回はアメリカの学会長さん、韓国の美容外科の会長さん、中国の会長さん、他は未定ですけれどもできるだけお呼びします。それで若い先生たちがそういう方々と触れ合っているのをきっかけにその国に見学に行けるようになったらいいなと思います。先ほど言いましたけど、向こう

聖心美容クリニック

〒106-0032 東京都港区六本木6-6-9 ピラミデ2F
お問い合わせ土日祝も受付

TEL 0120-911-935 (受付時間: 09:30 ~ 20:00)

夜間: 0120-773-566 (受付時間: 20:00 ~ 23:00 / 新規予約のみ)

HP <https://www.biyougeka.com>

東京皮膚科・形成外科銀座院

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8
ラウンドクロス銀座 3F

TEL 03-3545-8000

HP <https://www.251901.net/>

の情報をネットで調べると、意外と企業が勝手に発信している情報だったりするんです。だから、そういう人と直接出会っておけば、例えばその国に行ったとき、そのクリニックの見学に行ったりできるので、国内も同じですけど、世界中の先生たちと知り合って、より切磋琢磨している医療ができたらなと思っています。